

ドクターヘリ導入に向けた取組状況

1 宮城県ドクターヘリ運用調整委員会ワーキンググループの開催状況

- 平成26年4月に開催した「第1回宮城県ドクターヘリ運用調整委員会」において、出動要請基準の具体的な検討を行う「症例検討ワーキンググループ」の設置が決定し、ドクターヘリと救急車の合流地点を検討する「ランデブーポイントワーキンググループ」の設置を検討することとされたことを受けて、それぞれ第1回ワーキンググループが開催された。

(1) 第1回症例検討ワーキンググループ (H27.3.11)

- ・ 出動要請基準として他県でも採用されている「キーワード方式」を採用することとし、具体的な内容については、少人数でのミニワーキングで素案を作成していくこととされた。

(2) 第1回ランデブーポイントワーキンググループ (H27.3.11)

- ・ 宮城県防災ヘリで使用している臨時着陸場（186箇所）を基本としながら、他県の例を参考に、400箇所の設定を目標とすることとし、各消防機関から、ランデブーポイントの候補地の推薦を受け、現地調査を経て設定していくこととされた。

2 運航委託会社の決定

- ・ 基地病院決定後、平成28年度の早い時期の運航開始を目指し、主に事務を担当する仙台医療センターが運航委託契約締結に係る入札手続きを行い、東北エアサービス・四国航空共同企業体に決定。